

副支部長就任の挨拶

令和2年8月27日

(公社)大分県建築士会日田支部 吉田 正浩

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、副支部長となりました吉田正浩です。59歳なのでいつまで会社が雇ってくれるのか不透明ですが、退職後は農業（実家の事）をして野村支部長を支える気持ちですので、宜しくお願い致します。

さて、私の副支部長としての役割ですが、やはり諸先輩の活動を継続し、次の世代に引き継ぐ事が大事と考えております。益々活発な活動となりますよう、きめ細かい配慮に心掛け、人が喜ぶ活動を目指します。

次に空き家対策に力を入れたいと考えます。日田市の空き家は1,162戸（H28）です。倒壊寸前の物件も有りますが、ほとんど活用が見込まれる空き家となっています。皆様のご意見を聞きながら、日田市と協力し合い新しい空き家対策を模索していきたいと考えています。地方にいても情報発信出来る時代となった事を最大限に生かしたいと考えます。

また、文化財の保護にも一石を投じたいと思います。今年7月の豪雨で高井町の筏場の眼鏡橋（大分県有形文化財）が倒壊した事は記憶に新しい事です。7年前（平成24年）の九州北部豪雨災害で石橋の上部が流され、下部のアーチ部分のみが残されていましたが、今回の豪雨で全壊してしまいました。7年前に県に問合せしましたが、「どうしたものか、思案している。」との答えで、解決策は見出せなかった様です。地域の大切な文化財を後世に残す事も大事と考えます。と、夢みたいな事を書きましたが、夢を見られないよりマシだと思い、一生懸命務めさせて頂きます。皆様の益々のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げ、私のご挨拶と致します。ご自愛下さい。

